

災害種類別被害概況

1 台風第4号及び梅雨前線による大雨の農作物被害

台風第4号等の影響により、水稻では宮崎県及び鹿児島県の早期米で、乳白米等の登熟障害が多く発生し、被害面積は9万4,400ha、被害見込金額は128億円となった。

(1) 気象概況

6月28日頃から7月上旬にかけて、梅雨前線の活動が活発化し、特に九州地方では大雨となった。

また、大型で非常に強い台風第4号は、勢力を保ったまま7月13日に沖縄本島付近を通過し、14日14時頃、鹿児島県大隅半島に上陸した。

なお、上陸時の中心気圧は945hpaで、7月に上陸した台風としては観測記録が残る1951年以降最も強かった。

(2) 作物別被害

作物別の被害見込金額は、水陸稲が81億5,000万円(被害総額の64%)と最も大きく、次いで工芸農作物が19億5,000万円(同15%)となった。

(3) 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、宮崎県が82億4,000万円(被害総額の64%)と最も大きく、次いで鹿児島県が16億4,000万円(同13%)となった。